

シルバー さくら



公益社団法人

佐倉市シルバー人材センター

〒285-0025 千葉県佐倉市錦木町198番地2

レインボープラザ佐倉 2F

電話：043-486-5482(代) FAX：043-486-5419

メールアドレス

sakurassjc@sjc.ne.jp

ホームページ

<http://webc.sjc.ne.jp/sakurassjc/>



左のQRコードを読み取ると、(公益社団法人)佐倉市シルバー人材センターのホームページが開きます。

令和3年5月1日 発行

第 125 号

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター



令和三年度を迎えて



会長
田中 千俊

「御礼と感謝」

令和2年より発生した新型コロナウイルスが収束せず、さらに新しく変異型ウイルスが急速に増加している状況です。感染予防のワクチンが各自自治体で始まりました。佐倉市におきましても5月9日より接種が開始されます。効果を期待し、一日も早くコロナ前の生活に戻りたいものと期待しています。

会員の皆様方には、社会情勢が不安の中、コロナ予防に徹して活動頂きクラスタを起こす事なく、無事新年度を迎えることが出来ました事に改めて感謝申し上げます。

さて急ではありませんが、私儀、一身上の都合により来る令和3年度の定時総会をもって会長職を退任する事と致しました。

平成16年に入会してすぐパソコン教室の設立に携わり、平成20年より理事として互助会の運営に携わり、平成24年副会長就任後当時の会長のご理解、常務理事の協力により、念願の介護事業を起こす事ができました。平成

27年より会長職を拝命、その後6年間、市役所の関連各部の皆様や商工会議所、観光協会、佐倉市社会福祉協議会及び介護事業に携わる皆様方のご指導ご支援ご協力を頂き無事今日を迎えられた事に感謝申し上げます。

業務推進に当たりましては、副会長、常務理事及び多くの理事の方々に支えられ会員の皆様の就労の拡充、安全を計つてまいりましたが、昨年より重点を置いていた事務の簡素化、顧客ニーズに沿うデジタル化につきましては、道半ばで退任することとなり大変残念ですが、体力の低下など会長職の任を果たすことは無理と判断したものであります。

センター業務のデジタル化は、ICT推進分科会が中心となり意欲的に取り組んでいますので近々素晴らしい成果を挙げられるものと確信しています。

コロナ禍の前のシルバーフェスタ、地区研修会、職群班との親睦会、日帰りバス旅行など懐かしい光景が目当たり浮かびます。

一日も早くコロナが終息し、人と人の触れ合いによる楽しい生活、楽しい就業が戻る事を願っています。

関係各位におかれましては、市民と共に歩む佐倉市シルバー人材センターのさらなる発展にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

お世話になりました、有難うございました。



副会長
佐々木 明也

日頃はセンターの活動にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルスへの対応で、シルバーフェスタをはじめ、多くの行事や会合が中止を余儀なくされました。これを踏まえセンターでは、コロナの時代の新しい生活様式・仕事様式の一環として様々な試みを実行に移そうとしております。

ビデオシステムを使ったオンライン会議は、いくつかの理事活動委員会や理事会等で既に導入済みです。また、センターと会員の皆さまを繋ぐコミュニケーションツールとして、ホームページ内に会員専用サイトを開設し、4月から運用を開始しております。

キャッシュレス決済への対応として、QRコード決済も間もなく導入の予定です。さらには、就業報告のデジタル化により、報告書の作成も提出もスマホで簡単に処理できるような仕組みづくりも検討中です。

こうした取り組みは、多くの方に浸透するのに時間がかかるかもしれませんが、あせらずじっくり進めていきたいと考えております。

本年度もよろしくお願いいたします。



常務理事
田中 豊嗣

新型コロナウイルスの収束が見えないまま今年度がスタートしました。昨年度は、感染予防で日常生活およびセンターの事業運営に多大な影響が有りましたが、今年度も引き続きコロナ対策の1年になりそうです。

そんな中、当センターは、10月1日に「創立40周年」を迎えます。昨年度に経験した「新しい生活様式」「新しい仕事様式」を前向きに捉え、記念すべき1年にしたいと思っております。

また、今年度から3年間の「中期計画」が策定されました。新しい時代に向かつて、IT化の推進、高齢者支援事業の更なる展開、外部に対するセンターのPR活動等、盛りだくさんの施策です。

新型コロナウイルスにより会議・研修等が開催出来ない状況の中、会員の皆様と情報の共有を図るため、オンライン会議の導入・ホームページでは「会員専用ページ」等、新しい企画を推進しています。

会員の皆さんと一緒に記念すべき1年にしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

総務委員会

委員長 岡本 恒雄

皆様、コロナがまだまだ威張っています。お元気でご活躍と思いますが、お体には十分ご留意願います。



総務委員会としては、シルバーフェスタが前年に引き続き開催できず、秋の40周年事業に注力しています。今後色々なことで会員の皆様にご協力頂くことになると思われますので、宜しくお願い致します。

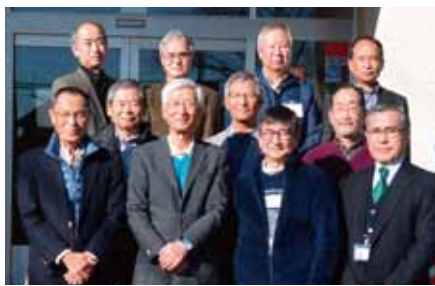
早くコロナが終息し、生き生きと活動できる日が来ることを祈念致します。

広報委員会

委員長 長田 成兒

会員とセンターをつなぐ「ハローシニア佐倉」を毎月発行しています。会員の仕事ぶりや活動を紹介したり、センターの動きをお伝えし、センターをよりご理解いただけるよう努めています。興味を持って頂けるようQRコードから見ることのできる動画も作成しています。

また、「シルバーさくら」を年4回発行し、会員はもちろん、市民、関係機関に対しセンターの活動をお知らせしています。



安全・適正就業委員会

委員長 佐々木 明也

新年度に向けて総勢15名での活動となります。

「安全就業」の面では事故撲滅を目指した取り組みを、「適正就業」の面では各種規定の見直し・改定を行っています。

本年度の安全標語は『安全は 目配り 気配り 心掛け』です。



企画委員会 事業運営分科会

委員長 佐々木 明也

4月から新中期計画がスタートしました。昨年10月に実施の会員アンケートで示された皆さまの意向をも踏まえ、令和5年度までの3年間における、当センターの指針となる6項目の基本計画と実際に取り組むべき施策が盛り込まれております。

今後は、施策の達成具合の点検・評価を行い、必要な見直しを図っていく所存です。



企画委員会 研修分科会

委員長 下田 眞

研修分科会は会員の就業機会を増やすことを目標に、皆さまの就業拡大に資する研修に取組みます。

具体的には、仕事の質向上のためのスキルアップ研修、技能職の市場拡大と就労者拡充を目指す技能者育成研修、更なる顧客満足実現のための接客力向上研修等です。

皆さまが興味を持てる研修が実施できるように委員一同頑張ります。



40周年記念誌編集委員会

委員長 長田 成兒



6人の編集委員と田中常務の総勢7名で、センター創立40周年記念誌の発刊作業を行っています。記念誌には、主に創立30年から40年に至る10年間のセンターの事業活動を記録することとしています。公募による名称も決まり、引き続き、表紙デザインの公募中です。

現在は、お願いした原稿の大半がそろい、9月の完成を目指して、本格的な編集・校正の作業を進めています。

各委員長から、
安全・適正就業委員会及び
理事活動委員会及び
新年度にあたっての挨拶です。

企画委員会 サポート事業分科会

委員長 高橋 豊明

新たな中期計画に基づく初年度の取り組みが始まりました。

「就業機会の拡充」「会員の拡大」「女性活躍の推進」の3課題で前進をめざします。会員の多様な希望職種に答えられるような新たな就業先の開拓・拡充、就業相談・入会説明会の充実による会員拡大、女性部会による女性会員の交流と親睦を深める取り組みを進めます。



企画委員会 ICT 推進分科会

委員長 佐々木 明也

昨年11月に発足した分科会です。コロナ禍で余儀なくされている様々な制約に、ICT(情報通信技術)を活用しての対応を考えております。オンライン会議の普及、会員専用サイトを通じた機動的な情報発信、キャッシュレス決済の導入による決済の多様化、就業報告のデジタル化による事務の効率化等々。これらは業務の効率化や利便性の向上だけでなく、コロナの時代に対応した新しい仕事様式につながるものと考えております。



会員互助会 長寿お祝いの会 (米寿・喜寿)

会員互助会主催の令和2年度「長寿お祝いの会」が、コロナ禍の状況で、恒例の式典が中止となり、受賞対象者(米寿4名、喜寿57名)には、お祝い金、記念品を書留便でお届けしました。今回は、同封しました熊田互助会会長、田中会長のお祝いの言葉の全文と、受賞者名簿を掲載致します。



会員互助会
熊田 猛 会長
お祝いの言葉

この度、令和2年度の会員互助会による「長寿お祝いの会」で米寿・喜寿を迎えられた会員の皆様、誠にありがとうございます。例年2月、ミレニアムセンターに皆様お集まり頂き、お祝い金・記念品を贈呈、お楽しみ演芸等の式典を開催致しておりましたが、昨年末から新型コロナウイルス感染症が拡大、その収束が見通せない状況から、会員の感染予防を最優先にして式典は中止致しましたこと、ご理解願います。

皆様には、佐倉市シルバー人材センターの会員として、長年にわたり共働・共助の基に就業され、センター運営にも多大なる貢献をされています。就業され会員仲間との交流を深め、自身の健康維持を図り、元気に米寿・喜寿を迎えられましたことをお喜び申し上げます。

会員互助会より、記念にお祝い金・記念品を贈呈致します。人生百年に備える時代と言われております。皆様には、これからも会員として体調の許す限り就業するもよし、仲間と楽しむもよし、自分にふさわしい生き甲斐を求めて、皆様共々楽しく過ごしていられることを願っています。お祝いの言葉に代えさせて頂きます。

また、今後とも会員互助会へのご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

佐倉市シルバー人材センター

田中 千俊 会長 お祝いの言葉

米寿、喜寿をお迎えの皆様おめでとうございます。長い道のりを乗り越え、この度人生の節目をお迎えになられた事に改めてお祝い申し上げます。

現役を卒業し、当センターで元気に活躍され、センター40年の歴史に貴重な足跡をのこされている事に感謝申し上げます。…といつも「長寿お祝いの会」で申し上げるところですが、今年にはコロナ感染予防のため、集まり一緒にお祝いする機会がございません。毎年この時期に互助会主催の「長寿お祝いの会」が催され喜寿、米寿の祝典や会員有志による歌や踊りなど演芸でにぎやかに祝いして頂きますところ、喜寿を迎えた一人として誠に残念です。しかし一生一度の節目では有りますが、更に次の慶事に向かって新たな気持ちで一步一步明るく・楽しく・元気に進みましょう。次の慶事の時は、今回の分も含んで、盛大にお祝いして頂きましょう。

いま、シルバー人材センターの事業も多様化し、事業内容も拡大しています。よって私達の経験や後輩への指導が必要となつていきます。センター発展のためにも是非これからも皆様にご協力をお願い致します。今年10月にはセンター設立40周年を迎えます。コロナが収束し、皆様方と共に祝いできる事を楽しみにしています。コロナ対策は自覚からです。万全な感染予防対策を取り活動しましょう。米寿・喜寿おめでとうございます。

祝 米寿

昭和7年4月〜8年3月生れ

佐倉・和田地区

大久保 ハマ子

志津地区

狩野 寛之

白井・千代田地区

新井 和子

高橋 公輔

祝 喜寿

昭和18年4月〜19年3月生れ

佐倉・和田地区

中畠 久佐子

橋本 堅治

名倉 征次

松田 和子

廣田 かつよ

杉森 道和

山崎 千恵子

芦澤 学

蟹澤 金兵

太田 俊明

大河原 一二

山崎 且子

柿沼 博之

山中 好和

村石 弘

佐藤 房子

秋本 武夫

藤原 卓郎

上野 五海

松本 トヨ子

志津地区

田中 千俊

北館 八重子

福田 政之

藤村 忠士

谷 秀樹

三橋 正和

中原 寿彦

楠田 忠義

潮見 ちづ子

根郷・弥富地区

松本 信子

菊地 春義

齋藤 齋

熊田 史江

向 信子

竹原 聖子

竹田 茂

良川 裕志

羽場 昂

シルバー俳短柳同好会 短歌

絵手紙に丑を描きし年賀状

老いゆくわれの最後と決める

廣田 正明

髪とかす妻のせなかの白髪を

とりてたがいの年月笑まう

漆原 幸二

訊ねられミセスと答えたその日から

私の名前はミセスサンデー

岡田 典子

コロナ禍でイベント中止の知らせあり

河津桜も悲しげに咲く

越川 圭子

梅二輪恥じらうごとく咲きにけり

春はふらふら行方定めず

中村 寛

窓をあけテーブル間をあけマスクつけ

寒くも楽し冬の歌会

竹田 宗司

真広なる澄み極まれる青空に

牛久大仏すつくと立てり

新井 和子

はるのかぜハイウエイより渡りきぬ

白きブラウスの胸膨らます

横山 鈴子 講師



(敬称略)